

### 硬質ウレタンフォーム断熱材（現場吹付け品）の目標年度について（案）

製造事業者等が品質改良等建築材料の断熱性能の向上を行うためには、製造設備の更新等一定の期間を要するため、目標年度を設定するにあたっては当該状況に配慮する必要がある。

性能向上のためには、各社の技術開発、試作ラインにおける製造・調整及び本製造ラインにおける製造・調整の対応が発生する。これらの対応を全ラインで完了させるためには、10年の期間を要する。

以上を勘案し、目標年度については、最新のデータが揃っている平成25年度（2013年度）を基準年として、10年後の平成35年度（2023年度）とする。